

金利上昇の影響、 企業の50.5%が 「マイナスの方が大きい」

「プラス影響の方が大きい」は4.8%にとどまる

山梨県・金利上昇による企業への影響調査(2025年12月)



本件照会先

岡田 哲也(支店長)
帝国データバンク
甲府支店
問合せ先:055-233-0241(直通)
e-mail:info.koufu@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/03/23

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

金利の上昇が自社の事業に与える影響は、「マイナス影響の方が大きい」が前回調査(2024年4月調査)から1.9ポイント上昇し、50.5%となった。一方、「プラス影響の方が大きい」は4.8%にとどまった。借入金の多い中小企業にとっては、金利の上昇による支払利息の増加で利益が圧迫され、経営環境は一層厳しさを増すことが懸念される。

※株式会社帝国データバンク甲府支店は、山梨県内215社を対象に、「金利上昇による企業への影響」に関するアンケート調査を実施した

調査期間:2025年12月16日~2026年1月5日(インターネット調査)

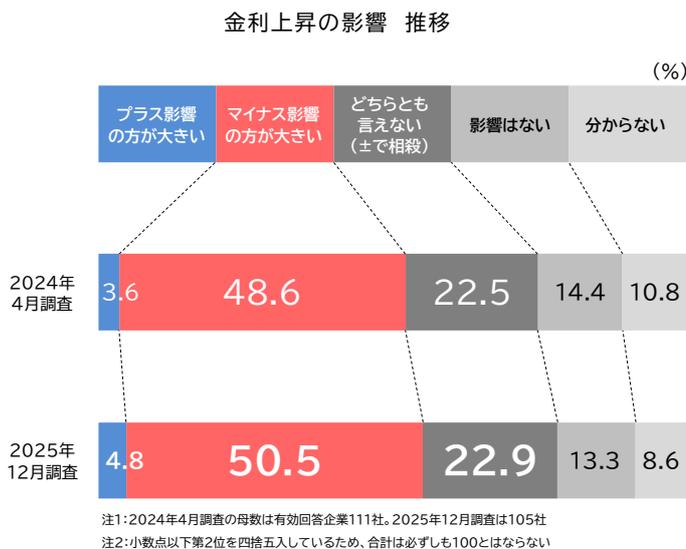
調査対象:山梨県内215社、有効回答企業数は105社(回答率48.8%)

金利上昇の影響、「マイナス影響の方が大きい」が5割超へ

金利の上昇が自社の事業にとってどのような影響があるか尋ねたところ、「マイナス影響の方が大きい」と回答した企業が50.5%となり、前回調査(2024年4月調査)から1.9ポイント上昇した。次いで、「どちらとも言えない(プラスとマイナス両方で相殺)」が0.4ポイント増加し、22.9%となった。金利の上昇が進むにつれ、マイナス影響を大きく感じる企業が増加している。

なお、全国と比べると、「プラス影響の方が大きい」(全国2.8%)では2.0ポイント上回り、「マイナス影響の方が大きい」(全国44.3%)でも6.2ポイント上回った。一方、「どちらとも言えない(プラスとマイナス両方で相殺)」(同26.9%)は4.0ポイント、「影響はない」(同13.5%)は0.2ポイント、「分からない」(同12.4%)は3.8ポイントそれぞれ下回った。都道府県別でみると、「プラス影響の方が大きい」は、2番目、「マイナス影響の方が大きい」は11番目に高く、山梨県内企業は金利上昇の影響を相対的に強く受けているといえる。

企業の金利上昇の影響 推移



業界別「マイナス影響の方が大きい」推移

業界別	2024年4月調査 (%)	2025年12月調査 (%)	前回比 (ポイント)
全体	48.6	50.5	+1.9
農・林・水産	0.0	0.0	±0.0
金融	0.0	66.7	+66.7
建設	61.5	36.4	△25.1
不動産	50.0	100.0	+50.0
製造	44.4	51.5	+7.1
卸売	38.1	61.9	+23.8
小売	50.0	62.5	+12.5
運輸・倉庫	50.0	0.0	△50.0
サービス	60.0	44.0	△16.0

業界別にみると、「マイナス影響の方が大きい」では、『不動産』が前回比50.0ポイント増の100.0%でトップとなった。住宅ローン金利の上昇や投資用不動産の利回り悪化により需要の減退が懸念されるほか、市況の冷え込みによる不動産価格の下落圧力が生じる可能性もある。次いで、『金融』(66.7%、同66.7ポイント増)、『小売』(62.5%、同12.5ポイント増)、『卸売』(61.9%、同23.8ポイント増)が6割台が続いた。

企業からは、「設備投資の必要性がある今、金利の上昇がネックになっている。特に近年、工業機械の購入費用が大きく上昇しており、導入自体を見送る企業も身近にいる状態。また納期が長期化していることから、その間に金利がさらに上昇する可能性もあり、企業にとって悩ましい」(建材・家具、窯業・土石製品製造業)や「資金調達において貸出金利の上昇は大きなマイナス要因であり、収益率の低下にも繋がるものと懸念している」(専門サービス業)など、自社の利益が圧迫され、財務状況の悪化を懸念する声が多く聞かれた。一方で、「金利負担の増加以上に企業を成長させる」(飲食料品・飼料製造業)など金利上昇を前向きに捉え、成長戦略の対策を考えている企業の声も聞かれた。

まとめ

本調査の結果、金利上昇による影響は「マイナス影響の方が大きい」と回答した企業が 5 割を超える結果となった。金融政策の正常化を図るなかで今後も金利の上昇が継続することが見込まれる現状において、この傾向はさらに顕著となる可能性が高い。また、借入金の多い中小企業にとっては、支払利息の増加で利益が圧迫され、経営環境は一層厳しさを増すことが懸念される。企業は、借入方法の見直しのほか、価格転嫁やコスト削減など返済原資の確保を行うための対策を検討・実施することが求められる。

＜参考＞金利上昇の影響 都道府県別

都道府県別	プラス影響 の方が大きい		マイナス影響 の方が大きい		どちらとも言えない (プラスとマイナス 両方で相殺)		影響はない		分からない	
	割合 (%)	順位 (位)	割合 (%)	順位 (位)	割合 (%)	順位 (位)	割合 (%)	順位 (位)	割合 (%)	順位 (位)
全体	2.8	—	44.3	—	26.9	—	13.5	—	12.4	—
北海道	2.3	25	44.7	27	27.3	15	13.3	20	12.3	23
青森	0.0	44	47.6	18	22.0	42	17.1	2	13.4	16
岩手	1.7	37	40.9	40	27.0	17	16.5	5	13.9	13
宮城	3.5	8	41.4	39	26.8	18	12.6	25	15.7	7
秋田	3.1	15	42.9	32	27.6	14	14.3	16	12.2	24
山形	3.1	15	47.2	19	26.0	22	10.2	33	13.4	16
福島	2.9	19	45.6	24	26.5	20	12.5	27	12.5	22
茨城	3.3	9	36.6	46	31.4	5	13.7	19	15.0	10
栃木	2.2	28	52.2	7	22.1	41	10.3	32	13.2	18
群馬	3.1	15	51.9	8	24.1	33	12.3	28	8.6	42
埼玉	1.8	35	46.2	22	28.4	10	12.6	25	11.1	32
千葉	2.6	22	42.0	35	28.5	9	12.2	29	14.7	11
東京	3.3	9	37.9	45	30.3	6	15.8	7	12.7	21
神奈川	2.2	28	40.8	41	27.2	16	16.7	3	13.1	20
新潟	1.6	40	49.0	14	24.5	29	9.0	43	15.9	6
富山	2.8	21	43.0	31	24.3	31	15.9	6	14.0	12
石川	2.1	30	33.7	47	34.7	4	15.8	7	13.7	14
福井	2.0	31	42.9	32	35.7	2	10.2	33	9.2	41
山梨	4.8	2	50.5	11	22.9	40	13.3	20	8.6	42
長野	2.3	25	51.8	9	25.7	25	10.1	35	10.1	37
岐阜	3.3	9	47.0	21	21.9	43	14.6	13	13.2	18
静岡	3.7	7	48.3	17	23.6	35	12.8	23	11.5	30
愛知	3.3	9	48.4	16	26.0	22	10.4	31	11.8	25
三重	4.2	5	47.1	20	23.5	36	10.1	35	15.1	9
滋賀	0.0	44	53.2	6	24.5	29	11.7	30	10.6	35
京都	2.4	24	45.3	25	26.4	21	17.5	1	8.5	44
大阪	3.3	9	44.7	27	26.0	22	14.7	12	11.4	31
兵庫	3.3	9	42.4	34	27.8	12	14.9	11	11.6	28
奈良	3.0	18	56.7	3	20.9	46	9.0	43	10.4	36
和歌山	2.6	22	41.6	38	23.4	37	9.1	42	23.4	1
鳥取	0.0	44	58.7	1	25.4	27	9.5	41	6.3	47
島根	2.0	31	39.2	44	28.4	10	8.8	46	21.6	2
岡山	1.2	43	57.4	2	21.9	43	8.9	45	10.7	34
広島	2.0	31	48.6	15	23.3	38	14.3	16	11.8	25
山口	2.3	25	41.7	36	35.6	3	12.9	22	7.6	45
徳島	1.7	37	53.3	5	23.3	38	15.0	10	6.7	46
香川	1.8	35	53.6	4	25.5	26	7.3	47	11.8	25
愛媛	1.5	41	50.0	12	23.8	34	14.6	13	10.0	38
高知	0.0	44	45.1	26	29.4	7	9.8	39	15.7	7
福岡	4.1	6	43.4	30	26.6	19	15.2	9	10.8	33
佐賀	1.7	37	41.7	36	36.7	1	10.0	38	10.0	38
長崎	1.9	34	50.0	12	28.8	8	9.6	40	9.6	40
熊本	4.5	3	44.7	27	17.4	47	14.4	15	18.9	3
大分	1.3	42	40.5	42	27.8	12	13.9	18	16.5	4
宮崎	2.9	19	50.7	10	24.6	28	10.1	35	11.6	28
鹿児島	4.3	4	45.7	23	21.3	45	12.8	23	16.0	5
沖縄	6.1	1	39.4	43	24.2	32	16.7	3	13.6	15